

## 陸上100メートル 日本選手権7位

灰玉平(八学大)

## インカレV目指す

今月1〜4日に大阪市で開かれた陸上日本選手権男子100メートルに県勢で唯一出場し、7位入賞を果たした、八戸学院大学の灰玉平(はいたまたいら)侑吾が21日、八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に結果を報告。



熊谷市長(左)に日本選手権の結果を報告する灰玉平。21日午前、八戸市庁

「10秒1台を目指して練習に励み、9月の日本学生選手権(インカレ)は優勝したい」とさらなる活躍を誓った。

灰玉平は4日の準決勝で、前日の予選で塗り替えたばかりの自己ベストや県新、東北学生新をさらに0秒02更新する10秒24をマーク。国内トップ選手がそろった決勝では10秒29とタイムを落としたものの、県勢では28年ぶりとなる同種目での決勝進出を成し遂げた。

21日、同大陸上競技部の木村浩哉監督と訪問した灰玉平は「去年は準決勝で敗退したので、決勝に進出できたのはうれしい」としながらも「決勝は雰囲気にもまれてしまった。スタートからの加速もうまくできなかったので重点的に練習していきたい」と意気込んだ。

熊谷市長は「試合に出場するたびに学ぶことがある。インカレでの優勝を目指して頑張る」と激励した。(棟方好華)